

社会福祉法人しいのみ共生会

子ども発達支援センターこぶし園

事業所所在地	福井県坂井市丸岡町西里丸岡15-6		
電話番号	0776-68-0524	FAX番号	0776-68-0527
メールアドレス	kobusien@mocha.ocn.ne.jp		
ホームページ等	https://kobusien.jimdofree.com/		
障がい種別	発達障がい児、知的障がい児		

【基本情報】

事業名	児童発達支援(多機能型)		
定員	8名		
利用対象者地域	坂井市		
営業日	月曜日～金曜日	営業時間	通常 8:25～17:25
送迎	無 (長期休暇時) 無	送迎地域	
入浴	無		
自費負担金	教材費1回50円		
現在の利用園	坂井市内30園、福井市の一部の園		
療育内容	個別療育、小集団療育(年長中心)		
事業所PR	ご家族や関係機関と連携してお子さんの得意不得意の理解に努め、ご本人にあった関わり方をみつけられるように取り組んでいます。		(写真添付) 

法人理念

障がいのある方とそうでない方が同じ地域で生き生きと暮らすことができる活動が続けるとともに地域の中で安心して安全に暮らせる地域生活の条件整備作りをすすめていきます。

支援方針

- ①保護者の方が「こう育てればいいのか」というヒントや手ごたえが得られるようにする。
- ②家庭と保育園、他の関係機関との関係性がよくなるようにする。
- ③児童発達支援センターとしての中核的な役割を担うことができるよう専門性の向上を図るとともに、関係機関との連携を図る。

本人支援

個別療育	○言語聴覚士、心理士が中心に担当します。利用日時や回数はご家族と相談して決めていきます。(1回1時間)	
小集団療育	○ねらいや活動内容ごとに6つのグループがあります(基本的に月1回/年中・年長対象/水曜または金曜の9:30~11:30)。 ○保育士が中心に担当します。 ○日課(例): おあつまり→リズム遊び→自立課題→設定活動→自由遊び(途中から親子別々に活動/保護者はグループワーク) ※日課はグループによって異なります。	
	重視していること	プログラム例
健康 生活	①ご本人の得意不得意や学習パターンの把握から始め、特性に合わせた支援や構造化を考えます。 ②発達の土台としての生活リズムの安定や生活面の自立を重視し、そのための支援を一緒に考えます。	●絵・写真カードや実物、文字などでのスケジュール提示等 ●睡眠など生活リズムを整えるための話し合い ●衣類たたみや洗濯干しなどの家事課題、身辺自立の支援等
運動 感覚	①楽しめることや自分でできる・わかってできるようになるように考えます。 ②感覚の過敏さや鈍感さなどがなく確認し、ある場合は生活上の工夫について一緒に考えます。	●粗大・協調運動:サーキット、リズム遊び、ボール遊び等 ●微細運動:組み立て課題、制作、ボタン、運筆等
認知 行動	①ご本人にとってわかりやすい・動きやすい環境調整の仕方をみつけていきます。 ②概念(色、類概念、数、位置、時制など)の育ちを促します。	●情報の提示の仕方の個別化 ●絵や実物、カレンダーなどを使っての課題等
言語 コミュニケーション	①理解語彙・わかることの育ちを促します。 ②表出語彙・伝えられることの育ちを促します。 ③他者とのやりとりを楽しむための工夫をみつけていきます。	●絵・写真カード、身ぶり、言葉など本人に合ったコミュニケーション手段の活用と課題設定 ●買い物ごっこ、クイズ、お話づくり、共同制作等
人間関係 社会性	①集団場面における悩みごとの解決に向けた支援をご家族と一緒に考えます。 ②友達と一緒に遊ぶ時に必要な社会的ルールについて、わかるようになるように支援を考えます。	●順番、役割交代、じゃんけんなどのルールに関する課題設定と支援 ●すごろく、トランプやウノなどのボードゲーム等

地域支援
地域連携

- ①相談支援専門員、医療機関、園など関係機関との連携を重視しています。
- ②他機関との連携を深められるよう、普段から関係機関とのつながりを深めるための機会を重視しています。
- ③児童発達支援センターとして、地域の支援体制づくりに協力できるよう努めています。

移行支援

- ①園での様子から進級や進学に伴って必要な支援がないかを検討し、進級進学時に情報提供できるよう準備していきます。
- ②特に小学校入学時にあたっては、移行支援会議への出席や資料提出などを行っています。

家族支援

- ①必要に応じて、個別療育とは別に個別相談の時間もお取りしています。
- ②他の保護者とのつながりをもてるよう、グループワークの時間を設定しています(小集団療育利用の場合のみ)。
- ③終了者のフォローアップとして、保護者グループや個別相談を利用いただいています。

職員の
質の向上

計画を立てながら外部研修に参加したり内部研修を実施して職員の支援力向上に努めています。

主な行事

特になし(季節にあわせた制作や遊び、課題などを取りいれています)。